

## 令和6年度記録の書き方研修 実施要項

### ～支援の質を高めるための記録を学ぶ～

1 目 的	<p>福祉職として記録を書くことは、リスク管理の視点や職員間の情報共有のためにも不可欠です。</p> <p>そこで、記録の目的や意味を理解したうえで書き方を学び、演習を通して、自分が書いている記録や支援を振り返り、支援者としての質の向上をつなげることを目的として本研修を開催します。</p>
2 研修形態	集合型研修 ※研修日程のとおり
3 開催日時	令和6年7月16日(火) 9:50～16:00(5時間) ※受付開始は9:20～
4 開催場所	セキショウ・ウェルビーイング福祉会館4階 大研修室 (水戸市千波町1918)
5 対象者	<p>社会福祉施設・事業所等に勤務する直接処遇職員(初任者向け)</p> <p>【定員】90名</p> <p>※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。(先着順)</p>
6 受講料等	<p>県社協会員1人あたり 3,000円(税込・資料代を含む)</p> <p>県社協非会員1人あたり 5,000円(税込・資料代を含む)</p> <p>※申込締切後、請求書をメールでお送りしますので、振込期限までに必ずお振込みください。</p>
7 申込方法	<p>研修システムにより、お申込ください。</p> <p>※申込された方は、申込締切後「承認通知」をメールで送付します。</p>
8 申込期間	令和6年5月13日(月)～令和6年6月19日(水)まで
9 留意事項	<p>① 修了証の氏名は受講申込者となりますので、受講者を変更する場合は、研修システムで変更してください。</p> <p>② 申込締切後のキャンセルについては、「社会福祉事業従事者研修受講料に関するポリシーについて」をご確認ください。(代理の方の出席をお勧めします。)</p> <p>③ 受講申込みに記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。</p> <p>④ 開催方法などの変更・中止等は、研修システムページに掲載します。 ⇒掲載場所⇒<a href="https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/">茨城県社会福祉協議会研修システムページ</a> (<a href="https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/">https://www.ibaraki-kenshu.jp/kenshu_user/</a>) 茨城県社会福祉協議会トップページからシステムページに入れます。</p> <p>⑤ <u>資料データの著作権は、研修講師にあります。録画・録音・撮影、資料等の無断転用は固くお断りいたします。万が一これらの行為が発覚した場合、著作権および肖像権侵害で対処させていただくことがございます。</u></p> <p>⑥ 昼食はご自身でご用意ください、研修室での飲食は可能です。</p>
10 修了証	<p>受講者は、研修アンケートを期限までに提出してください。</p> <p>アンケート提出後、「研修システムマニュアルVer.10」のp32もしくは「研修アンケート提出方法」を参照のうえ、修了証をダウンロードしてください。</p>
11 問合せ先	<p>社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部(仲田・大谷)</p> <p>TEL: 029-244-3755</p> <p>E-MAIL: kenshu@ibaraki-welfare.or.jp</p>

## 研 修 日 程

**【集合型研修】 7月16日（火）**

日 時	研修科目等	ねらい
9:20～ 9:50 9:50～10:00	受 付 開講／挨拶・オリエンテーション	
10:00～12:00	講義・演習「ゼロから学ぶ対人援助職の『記録』」 ・対人援助と記録、記録の種類 ・なぜ記録を書くのか ・誰のために記録を書くのか ・何をどのように記録するのか ・記録を取り巻く状況（電子化、情報開示、訴訟等） ・記録を読む	記録の必要性及び記録の書き方を理解することができる。
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～16:00	一午前中の続きー ・記録で支援の質を高める・記録の着眼点 ・良い記録/悪い記録 ・時短と効率化 ・演習「記録にダメ出ししてみる」 ・演習「実際に記録を書いてみる」等 <u>※ 普段書いている記録を持ち寄り、グループ内で共有するワークも予定しています。</u>	演習をとおして、記録をする際の視点を身に着ける。自身の記録の書き方を振り返り、利用者支援につなげる記録を書くことができる。
16:00	閉 講	

※研修プログラム内容は変更される可能性もありますので、予めご了承ください。

### 【講 師】

**みそら行政書士・社会福祉士事務所 代表 鈴木 雅人 氏**

「相談の学校」主宰。社会福祉士・行政書士。

法律面・福祉面の両面から身寄りのない高齢者の生活を支え、自分らしい最期を迎えるためのサービスを提供している、相談件数 10,000 件以上という相談コミュニケーションの専門家。

著書：「相談力」入門 対人援助職のためのコミュニケーションスキル 36（中央法規出版 2013）

認知症 700 万人時代の失敗しない「成年後見」の使い方 第 2 版（翔泳社 2023）

### 【研修前準備と研修後のアンケートの提出】

事前アンケート	受講決定者に事務局から事前アンケートをメールでお送りします。 <u>6月30日（日）までにご回答ください。</u>
配布資料	当日配布します。 ※他者へ資料を転送しないようにお願いします。
アンケート (レポート)	<u>受講が職員 ID とパスワードで研修システムにログインし、回答してください。「研修システムマニュアル Ver. 10」の p32 もしくは「研修アンケートの提出方法」を参照してください。</u> 修了証を希望する方は、7月26日（金）までに、アンケートの提出をお願いします。それ以降は、修了証の発行ができませんので予めご了承ください。